

GMS、「飲んだら車が動かせない」社会の実現へ**ー 独自の遠隔起動制御技術で飲酒運転防止を推進 ー**

AI を活用したモビリティデータと、車両の安全な遠隔起動制御システムを基盤とするプラットフォームサービスを世界に展開する Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：中島 徳至、以下「GMS」）は、独自開発した車両遠隔起動制御 IoT デバイス「MCCS®」とデータ分析プラットフォーム「MSPF®」を活用し、アルコールを検知時に車両を起動できない「飲んだら車が動かせない」仕組みの普及を推進しています。

このたび、GMS が会員として所属し、代表の中島 徳至が代表理事を務める一般社団法人モビリティサービス協会（以下「MSA」）と、一般社団法人計測健康啓発協会（以下「A-HAM」）が、飲酒運転ゼロ社会の実現に向けた共同プロジェクトを開始しました。本プロジェクトでは、アルコールの「検知」、酒気帯び時の「車両制御」、正しい運用や健康管理を支える「教育・啓発」を一体で推進し、GMS も自社の技術を活かして、飲酒運転を未然に防ぐ仕組みのさらなる普及を目指します。



（左から今枝副大臣、A-HAM 望月代表理事、当社代表/MSA 代表理事中島、岩田副大臣）

背景・目的

交通安全対策が進む一方で、飲酒運転による事故はいまなお発生しています。警察庁によると、令和7年中の飲酒運転による交通事故は2,283件、死亡事故は125件で、飲酒運転の死亡事故率は飲酒なしの場合と比べて約6.9倍とされています。

アルコールチェックは、酒気帯びの有無を「検知する」「記録する」ための重要な仕組みです。一方で、飲酒運転をより確実に未然防止するためには、アルコールを検知した後、その結果を実際に「車を動かさない」仕組みへつなげることが重要です。

MSA・A-HAMによる共同プロジェクト

MSAとA-HAMは、2026年8月19日（水）、共同記者会見「飲酒運転ゼロ社会の実現へ～IoT技術と啓発活動を組み合わせた取り組み～」を開催しました。

両協会は、それぞれの専門性を活かし、アルコールの「検知」、酒気帯び時の「車両制御」、「教育・啓発」を一体で推進するとともに、アルコール検知から車両制御までを一連の仕組みとして安全性・信頼性を確認する新たな共同認証制度を開始します。

GMSが実現する「飲んだら車が動かせない」仕組み

今回のアルコール・インターロックでは、GMSが独自開発した「MCCS®」も車両の起動を制御するデバイスとして採用されています。「MSPF®」を介してアルコール検知結果と連携し、酒気帯びを検知した際に車両を起動できない仕組みを実現しています。

株式会社東海理化をはじめとするパートナー企業との連携を通じ、こうした飲酒運転防止の仕組みの社会実装を進めています。

また、GMSの「MCCSⅡ」「MCCSⅢ」「MCCS Type T」は、MSAが運営する「遠隔起動制御デバイス認証制度」の認証を取得しています。同認証制度では、車両の安全性を損なわない制御や通信・情報セキュリティ等の観点から、安全性・信頼性が確認されています。

今後の展望

GMSは今後も、独自開発した技術を活用し、アルコール検知器や車両管理システムをはじめとするさまざまなサービスとの連携を広げてまいります。

MSA・A-HAMによる今回の共同プロジェクトも契機として、アルコールチェックを「検知・記録」で終わらせず、車両の安全な制御までつなげる仕組みの普及を進め、「飲んだら車が動かせない」が当たり前となる社会の実現に貢献してまいります。



(認証を取得した当社デバイスを持つ代表中島)

Global Mobility Service 株式会社 概要

GMS は車両の遠隔起動制御システムを活用したサービスを提供する、グローバルスタートアップ企業です。日本国内及び ASEAN 諸国（フィリピン/カンボジア/インドネシア）において、まじめに働く低与信層の方々の就業機会を創出する金融包摂型 FinTech サービスや、巧妙化する車両盗難を最新の技術で防止するサービス、「飲んだら乗れない」社会をつくる飲酒運転防止サービスなどを展開しております。弊社サービス利用車両の総走行距離は、2026 年 3 月時点で 15 億 km を突破し、各分野において、世界に大きなインパクトを与えております。また、2019・2020 年には経済産業大臣賞を 3 度受賞、2023 年には経済産業省より J-Startup Impact に選定、2024 年には日本スタートアップ大賞国土交通大臣賞を受賞するなど、高い評価をいただいております。

当社の事業概要につきましては、下記動画をご参照ください。

<https://youtu.be/S9fXklbwYEY>



会社名：Global Mobility Service 株式会社

代表者：代表取締役社長 CEO 中島 徳至

所在地：東京都千代田区神田紺屋町 15 グランファースト 4F

設立日：2013 年 11 月 25 日

資本金：26 億 4,560 万円（資本準備金含む／2026 年 3 月 31 日時点）

URL：<https://www.global-mobility-service.com/>

事業内容：

車両遠隔起動制御 IoT デバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF®（モビリティサービスプラットフォーム）」を活用した金融包摂型 FinTech サービス、車両盗難防止サービス、飲酒運転防止サービス、およびデータの二次活用サービスの提供

® GMS、MCCS、MSPF は GMS の登録商標です。

<報道関係者様からのお問合せ>

Global Mobility Service 株式会社 広報グループ

電話番号：03-6264-3113

E-mail：press@global-mobility-service.com